

施設紹介 ～地域のこどもたちの拠点として～

愛染橋児童館 / 今池こどもの家

愛染橋児童館

愛染橋児童館では、「あそびの活動」を中心とした学童保育を行っています。

異年齢のこどもたちが集団であそぶことにより「意欲」や「集中力」を養い、またその中で「挑戦」や「失敗」も経験します。

そして、集団での活動を通して自分の気持ちや意思を伝え、反対に自分と違う話を聞くことにより、自分の考えを広げていくことができます。

こどもの「主体性」を大切に活動の一環として、遠足やキャンプなどの「自然体験」を重視しています。

地域になくてはならない、こどもたちの「居場所」です。



今池こどもの家

今池こどもの家は、0歳～18歳までの児童が対象で、地域を限定せず、誰でも無料で利用することができます、こどもたちのあそび場です。

工作やクッキング、卓球やけん玉、野球、サッカー、ドッジボール、縄跳び等、楽しいことがいっぱい毎日。夏にはびわこキャンプ、秋には川あそび遠足、冬は雪あそび遠足と、都会では味わえない季節に応じた自然体験活動も魅力的です。

いつでも、お気軽にお問い合わせください。見学だけでも大歓迎です！

愛染橋児童館



愛染橋児童館は児童福祉法にもとづいて、児童に健全なあそび場を提供し、あそびを通じて健康を増進し、よい人間関係や情緒を豊かにすることを目的としています。

- 所在地 大阪市浪速区日本橋東 2-9-11
- アクセス 地下鉄堺筋線「恵美須町」駅から徒歩約 350m
- 電話番号 06-6632-5640
- 対象年齢 小・中学生対象
- 開館日 月曜日～土曜日の午後 12:00～午後 7:00 (長期休暇及び休校日は午前 7:00～)



今池こどもの家



今池こどもの家は、大阪市が行っている「あいりん児童健全育成事業」で、こどもたちの健全な居場所(あそび場・生活の場)として活動しています。活動日は地域のこどもたちが、仲間たちと楽しいあそびやスポーツなどを行っています。

- 所在地 大阪市西成区花園北 2-16-26
- アクセス 地下鉄四つ橋線「花園町」駅すぐ
- 電話番号 06-6632-7020
- 対象年齢 0歳～18歳
- 開館日 月曜日～土曜日の午前 11:00～午後 7:00 (土曜日午前 10:00～午後 6:00)



保育の現場から ～保育に込める保育者の思い～



私の保育に対する思いは、こどもたちと一緒にいろんなことにチャレンジしたり、いろんな発見をしたり、一緒に驚きや感動をしたい、という思いで、日々こどもたちと関わっています。

こどもたちの言葉には、はっと思うことばかりで、私自身も一緒に成長させてもらっています。こどもたちの今までできなかったことが出来るようになる姿や、こどもたちが「先生大好き」と言ってくれる姿に保育者をやっていてよかったと幸せな気持ちになれます。

大切にしていることは、一人ひとりと丁寧に関わっていくこと、一日一日を大事にして過ごすこと、こどもたちをよく見て関わっていくことです。そして、こども目線に立ち日々の保育をしていきたいと思っています。

幼保連携型認定こども園 愛染園南港東保育園 今野 [3歳児担任]

「やっていてよかったと幸せな気持ちになれる」

どろんこあそびをする前に、綺麗な色をした色水であそびました。泥水に少し苦手意識があるこどもたちも、水に色を着けることによって自然と手や足を浸けてみようとする姿がありました。

また、あそびで使う道具を工夫することでこどもたちの楽しみは広がります。こどもたちが持ちやすいレンゲを使うことで、両手に持ってすくってみたり、水を移し替えてみたりなど、楽しみ方はさまざまです。

私は、こどもたちの発想やあそび方は無限大であると感じました。このようなあそびを通して、こどもたちのやりたい気持ちと展開されるあそびを一緒に楽しむことを大切にしたいです。

これから夏になり気温も高くなるので、発展していく水あそびが楽しみです。

幼保連携型認定こども園 大國保育園 北野 [2歳児担任]



「こどもたちの発想やあそび方は無限大」



保育士の知恵袋

「育児する家族に寄り添う、パートナーの役割を考える」

幼保連携型認定こども園 愛染橋保育園 主任 朴

私が保育士として勤めたのは阪神淡路大震災のあった年で、かれこれ30年近くたちます。その頃と比べても、こどもたちはいろいろなことを経験して、一生懸命育つ姿に変わりはありません。ここ数年で大きく変わったなと感じることは、お父さん方の育児への参加の割合です。近年、送迎に來られる頻度が徐々に増してきたと感じていたら、育児休暇を取られる方も増えてきました。育児や家事は、両親で行うものという考えが浸透してきているのだなと実感します。ここで、私なりにですが、育児参加の心構えを考えてみました。

育児はこどもの世話をすることだけではない

育児は、こどもの生活が健やかに過ごせることを指します。そこには段取りよく家事を行うことも含まれると考えてください。



育児・家事は主体的に全体的に動くべき

育児・家事はお手伝いではありません。言われてから動くのはお手伝いです。生活リズムを把握して自分でできることを率先して考えてください。(お風呂に入る時間を逆算してお湯をためる、寝る時間の前に歯磨きを勧めるなど。〇〇してくれる？と言われてから動いていませんか?)

女性の産後直後は肉体的にも精神的にも大きな変化があることを配慮する

産後、女性の体は大きなダメージを受けています。全治1か月の交通事故に例えるドクターもいます。目には見えにくく、大切な赤ちゃんを優先するあまり、自分のことは後回しになりがちです。また、産後はホルモンのバランスも大きく崩れる方もいらっしゃいます。些細なことでも大変不安になったり感情のコントロールが難しくなったりもします。

そんな時に寄り添ってくれる家族の支えがあれば、どれほど心強いでしょか？ 私にも、産後にこのようなサポートがあれば、「うれしかったな」という気持ちをもとに、心構えを考えてみました。

そんなことは、解かっている、やっているという方がいれば、もうさすがの一言！昭和生まれの私の周りにはなかなかいませんでした。

もし、これから育休を取る、何をしたらよいか分からないという方に、ご参考にいただければ幸いです。

